

公の施設の指定管理者の指定（飯田市南信濃障害者等活動支援センター）について

1 公の施設の概要

(1) 基本情報

ア 施設名（通称）	飯田市南信濃障害者等活動支援センター（つくしんぼ）
イ 所在地	飯田市南信濃和田1556番地
ウ 設置年月日	平成11年4月1日
エ 設置目的	在宅の障害者等に創作活動又は生産活動の機会を提供し、もって障害者等の自立と社会参加の促進を図る。
オ 施設・設備	平成11年度竣工 鉄骨造平屋建 作業場A、作業場B、休憩室、食堂 建築面積 153.00㎡、敷地面積 287.74㎡
カ 施設の写真	



外観（正面）



外観（背面）



作業室



機能訓練室

(2) 管理の状況

ア 施設を管理する所管課	健康福祉部 福祉課
イ 現在の管理方法	指定管理者制度
ウ 指定管理者制度導入年月日	平成18年4月1日
エ 現在の指定管理者名（募集方法）	社会福祉法人 飯田市社会福祉協議会（非公募）
オ 現在の指定管理期間	令和4年4月1日から令和6年3月31日まで
カ 指定管理者が行う業務	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域活動支援センター事業に関する業務 ・ 施設の建物、敷地及び設備の維持並びに管理に関する業務

(3) 利用の状況（有効性）

ア 営業（開館）状況	令和3年度	令和4年度	備考
日数	237	237	
利用者数	1,095	906	
イ 利用者のニーズ・意見等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日々の利用についての特段の要望意見はない。 ・ 各々の得意な作業が提供され、やりがいを感じながら活動できている。 ・ 令和6年度以降、施設が存続するのか心配している。 		
ウ 利用者のメリット（利便性の向上、利用者の増加、地域活性化等の効果）	<p>福祉の専門性を有する事業者が事業を行うことにより、障がい者の日中活動の場が確保される。</p> <p>指定管理者の創意工夫により、利用者数の増加や地域活性化につながる事業展開が期待できる。</p>		

(4) 収支の状況（効率性）

ア 決算	令和3年度（円）	令和4年度（円）	備考
収入（A）	5,248,134	4,584,642	○収入 利用者減少による収入減
施設利用料等収入	0	0	
市支出の指定管理料	0	0	
地域活動支援センター補助金	1,500,000	1,500,000	
事業収入	3,648,134	3,054,548	
補助金収入		30,094	
その他（共同募金分配金）	100,000	0	
支出（B）	5,986,888	5,678,334	○支出 事業継続のため、管理者と支援員の人件費は必要 ○赤字の処理・対応 指定管理法人全体の収支の中で補填
人件費	4,785,156	4,721,402	
委託料	107,000	107,000	
光熱水費	240,000	197,365	
消耗品費	134,310	60,244	
修繕費	0	4,070	
通信運搬費	64,000	78,000	
車両費	78,839	17,900	
事務費	36,000	33,000	
保険料	58,000	35,882	
燃料費	62,671	62,671	
租税公課	16,000	6,000	
授産事業支出	404,912	354,800	
収支（A－B）	-738,754	-1,093,692	
イ 運営上のメリット（経費の節減、職員事務量の削減の効果）	・福祉の専門性のある人材確保、施設の運営管理に係る職員の事務量の削減が図られている。		

2 指定管理者選定の経過

(1) 募集の状況

ア 募集方法（公募・非公募）	公募
非公募の理由	－
イ 指定管理者が行う業務	(1) 飯田市障害者地域生活支援事業及び障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律の施行に関する条例（平成18年飯田市条例第50号。以下「条例」という。）第3条第2項第5号に規定する地域活動支援センター事業に関する業務 (2) 施設の利用の許可及び促進に関する業務

	<p>ア 公共の施設として、利用者の区別なく公平に利用できるようにする。</p> <p>イ 飯田市南信濃障害者等活動支援センターの利用を促進するための取組を行う。</p> <p>ウ 日常的に施設を利用する地域住民等利用者の増加に向けた取組を行う。</p> <p>エ 施設内でサービス等を提供しようとする者に対しては、施設の目的、利用者のニーズに沿ったものであるか判断の上で許可を行う。</p> <p>オ 地域住民等による活動の場としての施設利用を積極的に促進するための取組を行う。</p> <p>(3) 施設の利用に係る料金（以下「利用料金」という。）の額、利用料金の納付の方法及び利用料金の還付の方法を定め、並びに利用料金を徴収する業務</p> <p>ア 飯田市南信濃障害者等活動支援センター条例第11条に規定する利用料金の徴収を行う。</p> <p>イ 利用料金は、指定管理者の収入として收受する。</p> <p>ウ 特別な理由があると認めるときは、利用料金の減免の手続きを適切に行う。</p> <p>(4) 施設の建物、敷地及び設備の維持管理に関する業務</p> <p>ア 公共施設として、利用者の安全に配慮した施設管理を行う。</p> <p>イ 飯田市南信濃障害者等活動支援センターの利用者の満足度を高めるための適切な施設管理を行う。</p> <p>ウ 周辺住民等の生活環境等にも配慮した、施設周辺の環境整備、管理を行う。</p> <p>エ 飯田市との協定に基づき、維持管理に対する費用等の適切な負担を行う。</p> <p>(5) 前各号に掲げるもののほか、市長が別に指定する業務</p> <p>遠山地域の活性化の拠点施設としての役割を持つ施設であることも念頭に置き、遠山周辺地区、観光関係団体、地元の自主的団体・グループ等、地域との連携を密にして、地域振興に向けた取組を共に推進する。</p>
指定管理料	—
ウ 応募者数	1 団体

(2) 選定の結果

ア 団体の概要

(ア) 名称・商号	株式会社 よろず家
(イ) 代表者	代表取締役 遠山 都志男
(ウ) 所在地	飯田市南信濃八重河内302番地22
(エ) 設立年月日	平成30年10月23日

(オ) 設立目的	1 介護保険法に基づく居宅サービス事業 2 介護保険法に基づく地域密着型サービス事業 3 介護保険法に基づく居宅介護支援事業 4 介護保険法に基づく介護予防サービス事業 5 介護保険法に基づく地域密着型介護予防サービス事業 6 介護保険法に基づく介護予防支援事業 7 介護保険法に基づく第1号事業 8 飲食店の経営 9 仕出し弁当の製造、販売 10 加工食品の製造、販売 11 飲食料品、日用品雑貨等の販売 12 タクシー事業 13 前各号に附帯関連する一切の事業
(カ) 基本財産	資本金 100万円
(キ) 役員・職員	役員3名 職員20名

イ 選定の理由（令和5年飯田市告示第168号）

<p>候補者は、遠山地域の障がい者等の地域活動の支援を推進する意図を十分理解しており、的確な管理運営が期待できる。</p> <p>更には、当該施設をより多くの方々の利用につなげる取組、新たな生産活動の機会を提供する企画等の意欲ある提案をしており、当該候補者が当該施設の管理運営を行うことにより、地域内の連携が図られるとともに、地域における障がい者の拠点としての機能が高められ、地域の活性化が期待できる。</p>

(3) 評価の視点（適格性）

区分	配点	得点	評価
ア 指定管理者としての適性	10	8.75	施設の設置目的及び遠山地域の障がい者等の地域活動支援を推進する意図が十分理解され、地域活動支援センター事業を担う職員配置の提案があり、的確な管理運営が期待できる。
イ 施設の有効活用	10	9.38	在宅障がい者の「居場所づくり」の機能を強化するためのサロンの空間づくりや地域住民のニーズに効果的に対応する事業の提案があり、設置目的達成に向けた取組が期待できる。
ウ 利用者対応（改善姿勢）	20	17.50	利用者の多様なニーズに向き合い、個々の利用者とその家族に寄り添った支援を実施するために、年1回以上の利用者アンケートによりニーズや満足度を把握する取組が提案された。
エ 事業収支（収支の妥当性）	10	8.13	一日当たり平均6名の利用者を見込み、事業計画に基づく適切な収支予算の見積りが提案された（(4)に掲載のとおり）。
オ 職員配置等の	20	15.00	指導員として、有資格者（介護福祉士）の人的配置、

管理体制			職員のスキルアップのための研修参加、業務の分業化による職員確保が提案された。
カ 危機管理の対応等	20	13.75	防火体制、災害時の対応及びサービス提供に係る事故防止の体制、並びに個人情報取り扱いの方針が示された。
キ 地域連携・地域貢献	10	8.75	地域のイベントへの参加や施設内の交流スペースの充実による地域との交流促進、地域の高齢者の雇用促進による地元雇用の取組が提案された。
合計	100	81.26	

(備考) 適格の可否基準は、評価得点の合計50.00点以上と定めた上で評価

(4) 提案された令和6年度の事業収支（収支予算の見積り）

項目	金額 (円)
収入 (A)	6,108,000
指定管理業務に係る収入	6,108,000
市支出の指定管理料	0
サービス給付費	4,608,000
地域活動支援センター補助金	1,500,000
支出 (B)	6,100,000
人件費	4,200,000
委託料	110,000
光熱水費	350,000
燃料費	250,000
保険料	40,000
通信費	200,000
消耗品費	350,000
施設管理費	600,000
収支 (A - B)	8,000